

事業を引き続き推進します。

雇用対策としては、緊急地域雇用創出特別交付金事業を有効に活用し、雇用の創出にさらに努めていきます。

農業振興では、環境に優しい農業をめざし、減農薬・減化学肥料を推進するために、有機100倍運動推進事業を継続します。また、地元で収穫したものを地元で消費する「地産・地消」を図るため、給食の食材に新鮮な狭山産農産物を引き続き安定供給するよう努めます。さらに、市内に残る平地林は落ち葉を堆肥として利用できる重要な農業資源であるため、山林所有者と市民が協働で行う「森林施設計画制度」を積極的に推進します。

また、農業生産の担い手を確保するため、意欲と能力のある新規就農者や青年農業者の確保・育成に努めます。農業生産基盤の整備では、遊休農地の有効利用と優良農地の保全に引き続き努め、ほ場整備事業など農業生産基盤の整備と充実にも取り組めます。

教養文化

人を育み文化を創造する まちをめざす

生涯学習の面では、行政情報を積極的に提供し、市民と行政が一



狭山市はサトイモやホウレンソウなどの野菜の名産地です。地元で収穫した農産物を地元で消費する「地産・地消」の取り組みが注目されています（写真は赤坂の森周辺の畑）

体となったまちづくりを推進するために、「まちづくり出前講座」を充実します。また、「高齢者の学習意欲に対応するため、狭山シニア・コミュニティ・カレッジ事業を継続し、さらに、地域に根ざした生涯学習を進めるため、生涯学習ボランティア制度を活用していきます。社会教育では、子ども達が安心してスポーツや文化活動などを体験したり、地域住民との交流ができる場を提供するとともに、家庭での教育力低下を防ぐため、学校やPTAなどの関係機関・団体と連携して、家庭教育事業をさらに進めます。そして将来を担う子ども

達に、生活体験・社会体験などの機会を提供し、ふるさと狭山の伝統文化を継承していきます。図書館のサービスをさらに充実するため、子ども達の読書意欲を高め、豊かな読書体験ができるよう、良質な本の収集に努めるとともに、学校図書館と連携して調べ学習などにも対応できるように、整備を進めます。

人権問題に対する取り組みについては、すべての人々が正しい人権意識を身につけることを目的とした人権教育に、学校教育と社会教育の両面から引き続き取り組みます。そして、さまざまな人権問題

に対する理解を深め、人権尊重意識を高揚させます。

生涯スポーツを推進するためには、小・中学校の施設や公園、河川敷などの空間を生かし、子どもから高齢者までがスポーツに親しめる場と機会を積極的につくります。

また、彩の国まごころ国体では、全国から訪れる多くの人々と市民の心に良い思い出として永く刻まれるよう、心のこもった大会をつくりたい。そのためには、民泊の推進や歓迎市民運動など手づくりでの取り組みを実施します。

児童・生徒のいじめや非行・不登校の問題解決には、早期発見と適切な対応が必要であることから、サポートチームなど、地域支援システムづくり推進事業を進めるとともに、教育相談体制を一層充実させます。

狭山市では、「外国語早期教育推進特区」の認可を受けて、平成15年度の2学期から小学校での外国語早期教育を小学校7校で実施していますが、4月から市内17校すべての小学校で英語活動を開始しました。また、全中学校に配置している語学指導助手を2回小学校にも派遣し、国際理解教育として英語活動を進めます。

学校の教育環境整備では、水富小学校の耐震補強工事、富士見小



女性消防協力隊は、市民の皆さんが毎日安全に生活できるよう、各種講習会や防災訓練、消防出初式など、さまざまな場面で活躍しています(写真は防災訓練での三角巾を使った応急手当講習)

学校と山王小学校の補強設計を実施し、校舎の耐震化を着実に実施するとともに、中央中学校の冷暖房空調設備工事と人間川東小学校の冷暖房空調設備工事設計を行います。また、山王小学校ほか3校と狭山台中学校ほか1校に洋式トイレを設置するなどの改修工事を実施します。

そして学校給食では、給食センターの更新整備事業の推進にあたり、PFI方式による事業の可能性調査などを実施します。国際交流の面では、海外の姉妹

都市や国内の友好交流都市と、文化・芸術・スポーツ・教育などの分野で市民を中心とした交流を引き続き進めるとともに、今年度はワージントン市少年サッカーチームを迎えて子ども達の交流を図るほか、姉妹都市や友好交流都市の代表を市制施行50周年記念式典に招待します。

市民生活

安全で生活しやすい

まちをめざす

日ごろから危機管理意識の高揚と自主防災組織の育成、強化に努めるとともに、防災情報通信ネットワークの構築など防災関連施設、設備の充実に取り組みます。

また、市民の生命や財産を災害から守るため、救急救命士の養成、高度救命用機器の配備や消防ポンプ自動車の更新、消防団第6分団の車庫建替えなど、消防力の一層の充実と強化に努め、引き続き消防団をはじめ自主防災組織・女性消防協力隊などと連携しながら、市民が安心して暮らせるように努めます。さらに、消防に対する需要が複雑多様化している中で消防体制を強化するためには、市単独の消防体制よりも、広域化した体制とすることが必要と考え、所沢市・

入間市との広域消防を具現化するための検討を進めます。

近年、ひったくりなど身近な犯罪の増加が深刻な状況となつていきます。そこで、多くの防犯協力団体との連携をさらに強化しながら、市民による地域防犯活動など、足元からの犯罪抑止活動への支援に努め、犯罪のない明るいまちづくりを推進します。

情報化・IT推進では、戸籍管理の整備のため、今年度から2か年事業として戸籍などの情報データの磁気化を行い、戸籍届出から戸籍記載・編成までの期間短縮と戸籍謄抄本などの申請から交付までの時間短縮を図ります。

市営住宅の整備では、これまで建物実態に合った改修整備を進めてきました。今後は、さらに長期的な視点から効率的・的確な住宅の

維持・供給指針となる「公営住宅ストック総合活用計画」の策定に取り組んでいきます。

市民の交通安全意識の高揚をさらに図り、交通安全施設を整備・充実し、安全対策を進めます。また、放置自転車対策では、狭山市駅東口に(財)自転車駐車場整備センターによるセンター方式により、立体自転車駐車場を整備するとともに、引き続き放置自転車の防止に向けた啓発活動に努めます。

航空機騒音対策では、航空機の騒音被害の軽減を図るため、飛行回数の削減や安全飛行の徹底、防音工事施策の拡充を国に要望していきます。また、航空機による電波障害対策は、計画的に都市型ケーブルテレビ対応施設を整備しており、今年度は柏原6区と上広瀬共同受信組合を整備します。

諸施策を着実に推進するために

総合振興計画の体系に沿って平成16年度の重点施策などの概要をご説明しました。

これらの諸施策を着実に進めるためには、市民との協働をめざして開かれた市政を推進することが必要です。そしてそれとともに組

織機構を充実し、定員適正化計画や行財政改革プラン、財政健全化推進計画に基づいて、今後とも計画的・全庁的に取り組むことが不可欠です。今後、行政運営に全力で取り組みますので、市民皆さんのご協力をお願いします。